

達成状況評価書(平成24年度)

部局名:グローバルコラボレーションセンター

項 目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、海外フィールドスタディを14プログラム実施するとともに、そのノウハウが博士課程教育リーディングプログラム「超域イノベーション博士課程プログラム」に提供されたほか、「未来共生イノベーター博士課程プログラム」に協力するなど、大学の年度計画の達成に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、センターの国際協力グループが中心となって、SATREPS (JST-JICA) 「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」などの複数の国際共同研究の実施に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、海外からの教員・研究員の招へい、海外フィールドスタディ、インターンシップの実施のほか、パラオ保健省(パラオ)、カントー大学農学・応用生物学部・水産学部(ベトナム)と、学術交流協定を締結し、研究プログラムや、海外フィールドスタディを連携して実施するなど国際交流活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、センターの事業内容を焦点を絞って明確化するために組織改革を実施し、「国際協力」、「グローバル共生」、「海外体験型教育企画オフィス」の3つのグループからなる体制をとり、活動を開始するなど積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、海外フィールドスタディを計14プログラム実施し大学の国際化およびグローバル人材の育成に貢献するとともに、博士課程教育リーディングプログラムなど、他部局のプログラムへのノウハウの提供を進めるなど、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>